

13012 教育史Ⅰ History of Education I			2 年次～ 前期 2 単位
担当者	矢田 訓子	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関 連 資 格	
サブタイトル	西洋教育史		
授業内容・ ねらい	「教育」とはいったい何だろうか。この「教育」についての根本的な問いを、西洋の教育思想史の観点から検討し、その理解を深めること。そして、今日の教育の課題を歴史的背景にさかのぼって検討できるようになることが本講義の目標です。 本講義では、私たちの社会での「教育」の捉え方・考え方が、特に大きな影響を受けたプラトン、コメニウス、ルソーといった教育思想家に注目し、彼らの教育思想をその背景にある人間観や社会観まで掘り下げて検討します。		
授業計画	全15回の講義で扱う主なテーマは以下の通りです。 (1)オリエンテーション —なぜ西洋の教育思想を検討するのか (2)古代ギリシア・アテネの教育思想 (3)ソフィスト—人を説得する技法の獲得 (4)ソクラテス—無知を自覚した生き様 (5)プラトン—哲人王と教育 (6)ルネサンス期ヨーロッパの教育思想 人文主義者—先人から人間の生き様を学ぶ (8)近代社会の教育思想 (9)コメニウス①—すべての人にすべてのことを (10)コメニウス②—自然から人間の発達を類推する (11)ルソー①—「子ども」の発見 (12)ルソー②—市民教育 (13)現代社会の教育思想 デュルケム—若者の集団的社会化 (14)デューイ—「個性」尊重社会と教育 (15)思想史から「教育」を考える—まとめ		
教科書 参考書	教) 小沢周三、影山昇、小沢滋子、今井重孝著『教育思想史』(有斐閣Sシリーズ)、有斐閣、1993。授業時に資料を配布します。 参) プラトン、藤原令夫訳『メノン』、岩波文庫、1994、他。授業にて随時、提示します。		
評価方法	学期末の試験及び、授業内に課すレポート、および授業参加状況・態度に基づいて総合的に判断します。なお、具体的な配点については、第一回講義にて説明します。		
事前準備学習 履修条件等	できる限り、後期に開講する「教育史Ⅱ」を継続して履修することが望ましい。		